

病院内における新型コロナウイルス感染症発生について（第6報）

2022年2月27日現在

2月25日（金）、入院患者1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。

それを受け、直ちに、該当する病棟の入院患者様及び職員を対象にPCR検査を実施した結果、当院職員1名及び入院患者13名が新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。

当院では、今回の感染をクラスターと判断し、感染者が発生した病棟の新規入院、退院及び面会等を停止しました。

また、隣接する病棟の入院患者様を対象にPCR検査を実施した結果、全員陰性であることを確認しました。

接触者が特定できていることから、該当する病棟を除き、診療制限の必要はないとの判断にいたりましたので、通常診療は継続します。

今後は管轄保健所の指示に基づき、状況に応じた必要な措置を順次行い、関係機関と連携し、1日も早い収束に向けて対応するとともに、感染拡大防止に万全を期して参ります。

新たな情報につきましては、当ホームページにおいて報告いたします。

患者様やご家族をはじめ関係者の皆様には、ご迷惑とご心配をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

ひだか病院
院長 尾崎 文教